

新潟市スポーツ施設の未来構想会議について

副題 ～「スポーツ×拠点性の向上」に向けて～

背景

- 新潟市体育館や鳥屋野運動公園野球場といったスポーツ施設は、建築後約60年が経過し、老朽化が進んでいる状況
- 市民やスポーツ団体などからは大規模アリーナ等の設置を求める声
- これからのスポーツ施設の改修を考えるにあたっては、スポーツイベントの開催はもちろん、施設を活用してまちの賑わいを作り出す視点も必要

開催目的

- 「県都・政令市にふさわしい」スポーツ施設のあり方についての提言をいただき、将来的に、県など関係機関と連携しながら今後の施策に活かしていく。

副題について

スポーツが、まちの賑わいを生み出し、
スポーツが、拠点化・活性化に寄与していく、
そのような「県都・政令市にふさわしい」スポーツ施設の「未来」を描く

※新潟市スポーツ推進計画 第3次「スポ柳都にいがた」プランより

- 生涯スポーツ社会の実現に向けた環境づくりとして、本市の拠点性を活かしたスポーツ施設のあり方を検討。
- スポーツを活かしたまちづくりに向けて、ナショナルレベルの大会や合宿等を積極的に誘致し交流を推進。